資料５－2

アウトカムからみた次期計画における施策の体系案

検討の流れ

基本目標	施策の方向（アウトプット）	施策（インプット）	初期アウトカム	中間アウトカム	最終アウトカム
基本目標１ 医療・介護サービスが切れ目なく利用できるまち （在宅医療・介護連携の推進）	１．在宅医療・介護連携拠点の運営	(1)医師会、訪問看護ステーション等と連携した在宅療養の推進	医療・介護の切れ目ない支援が提供されることによって、安心して在宅療養を選択できる	高齢になっても住み慣れた地域で**安心して**暮らせる	いきいきと自分らしく安心して暮らせていると感じている人が多い
		(2)拠点訪問看護ステーションにおける医療介護関係者の相談支援			
	２．在宅療養支援体制の整備	(1)入退院支援ルールの運用			
		(2)患者情報を共有するための医療情報連携ネットワークの整備と活用の推進			
		(3)医療介護関係者の連携強化			
		(4)在宅医療に関わる医療機関等の充実			
		(5)２４時間対応を可能とする連携体制づくり			
		⑹地域リハビリテーションの充実			
	３．在宅療養・看取りについての普及・啓発	(1)適切な医療のかかり方についての普及・啓発			
		(2)在宅医療、介護に関する市民理解の促進と相談支援			
		(3)市民が在宅療養・看取りについて考える機会の提供			
基本目標２ 認知症の人や家族が安心して生活できるまち （認知症施策の推進）	１．認知症に関する知識の普及啓発の推進	(1)市民への普及・啓発活動の強化	認知症への理解が深まり、認知症になっても自分らしく生活できる		
		(2)認知症サポーター及び認知症キャラバン・メイトの養成と地域活動の推進			
		(3)認知症の人本人からの発信への支援			
	２．認知症予防対策の推進	(1)予防に関する啓発及び知識の普及	認知症予防の取組が定着し、早期発見・早期対応により進行も緩和されている		
		(2)早期発見・早期対応の充実			
		(3)大津市認知症ガイドブック（認知症ケアパス）の普及			
	３．保健医療サービス提供体制及び相談体制の整備	(1)「認知症初期集中支援チーム」による相談・支援体制の推進	家族介護者への支援が行き届き、介護負担の軽減が図られている。		
		(2)医療機関や医師会との連携体制および相談業務の充実			
		(3)認知症ケアの質の向上			
		(4)認知症の人の家族介護者への支援の充実			
	４．認知症の人の生活におけるバリアフリー化及び社会参加の推進	(1)認知症の人に優しい地域づくり・地域での見守り体制の充実	認知症になっても住み慣れた地域で普通に暮らせ、本人に合った形で社会参加ができる		
		(2)若年性認知症施策の推進			
		(3)成年後見制度の利用促進	高齢者の尊厳と人権が尊重され、自分らしさを守るための支援体制が整っている		
		(4)虐待防止施策の推進			
基本目標３ 地域の中で安心して暮らせるまち （あんしん長寿相談所の機能強化・生活基盤整備の推進）	１．あんしん長寿相談所の機能強化	(1)基幹型あんしん長寿相談所の体制の強化	機能強化されたあんしん長寿相談所を中心に、困ったときに相談できる体制がある		
		(2)効果的な運営継続のための評価の実施			
		(3)地域ケア会議の推進			
		(4)家族介護者への支援			
	２．あんしん長寿相談所の役割の充実	(1)ブロック別活動目標の設定	ブロックごとの特性に即した地域包括ケアシステムが確立されている		
		(2)志賀ブロック～(7)東部ブロック			
	３．介護サービスの質の向上の充実・強化	(1)介護サービス利用者等の相談体制の充実	安心して介護サービスを受けられる体制が整っている		
		(2)ケアマネジャーや介護職員への研修			
	４．生活支援の充実・強化	(1)生活支援体制整備事業の充実	高齢者やその家族が必要な時に 必要な福祉サービスを利用することができる		
		(2)その他の在宅サービス（ごみ出し支援を含む）			
		(3)消費者啓発事業			
	５．福祉意識の啓発	(1)福祉の意識形成	地域共生社会への意識や取組が定着する		
		(2)地域共生社会実現へ向けた地域福祉の推進			
	６．暮らしの環境整備	(1)有料老人ホーム等に係る情報連携の推進	生活支援の必要な高齢者が地域での生活を続けられるよう住まいと移動手段が確保されている		
		(2)高齢者の住まいの安定的な確保			
		(3)住み慣れた住宅の改造助成			
		(4)高齢者の移動手段の確保			
	７．防災・安全対策の推進	(1)地域の見守り体制の推進	高齢者の 安全と安心を確保する体制がある		
		(2)災害や感染症対策に係る介護サービス事業所等の体制整備			
		⑶防災事業			

基本目標	施策の方向（アウトプット）	施策（インプット）
基本目標４ 高齢者等がいきいきと健やかに生活し、社会参加ができるまち（介護予防サービス・生きがいづくりの推進）	１．高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	(1)高齢者の保健事業と介護予防の一体的な取組
		(2)地域課題の分析と対象者の把握、医療関係団体等との連絡調整
		(3)高齢者に対する個別的支援（ハイリスクアプローチ）
		(4)通いの場等への積極的な関与等（ポピュレーションアプローチ）
		(5)健康づくりの推進
	２．一般介護予防事業の推進	(1)介護予防普及啓発事業
		(2)地域介護予防活動支援事業
		(3)地域リハビリテーション活動支援事業
	３．介護予防・日常生活支援総合事業の推進	(1)介護予防・生活支援サービス事業
	４．高齢者の社会参加及び生きがいづくりの推進	(1)社会参加の促進
		(2)就労促進、シルバー人材センターの活用
		(3)高齢者クラブ活動の活性化
		(4)生涯学習、世代間交流等の促進
		(5)ボランティア活動への支援
		(6)生きがいづくりの場の提供
		(7)高齢者スポーツの振興
基本目標５ 必要な介護保険サービスを利用できるまち（ 介護保険サービスの充実）	１．介護人材の確保にかかる取組の推進	(1)介護人材の確保及び介護事業所等の生産性の向上にかかる取組の推進
	２．介護保険サービスの整備	(1)地域密着型サービスの整備目標
		(2)入所・居住系サービスの整備目標
		(3)その他、整備にあたって留意する事項
	３．介護サービス・介護予防サービスの実績と見込み	(1)居宅サービスの利用量の推計
		(2)地域密着型サービスの利用量の推計
		(3)施設サービスの利用量の推計
		(4)介護給付サービスの給付費の推計
		(5)予防給付サービスの給付費の推計
		(6)総給付費の推計
	４．地域支援事業の見込み	(1)地域支援事業の費用額推計
		(2)地域支援事業の内容
	５．介護保険料の算定	(1)第１号被保険者の介護保険料
		(2)所得段階別保険料
		(3)介護給付及び地域支援事業に要する費用の負担割合
	６．介護給付等適正化への取組と目標	(1)基本的な考え方
		(2)取組方針及び目標

初期アウトカム	中間アウトカム	最終アウトカム
介護予防、重度化防止へ向けた市民の主体的な取組が定着する	**自分らしく**いきいきとすこやかに暮らせる	いきいきと自分らしく安心して暮らせていると感じている人が多い
新たな主体による総合事業が実施できている		
生きがいや役割を持つ高齢者が増える		
高齢者が必要とする介護サービスを受けることができるよう介護事業所等に人材が確保されている	必要なときに必要な介護保険サービスを利用できる	
介護サービスを必要とする高齢者が 過不足なくサービスを受けることができる		
介護保険制度が適切に運営されている		